

6-d 口コミ

フネについての情報は、一般社会に広まっているものではなく、かなり限られた世界でのみ流通しているものです。しかも、いわば「公共の」情報源というべき雑誌などの絶対数も少なく、ビルダーやメーカーからの広報に類するものも限られた経路でしか伝わりません。絶対的に情報量が少ないのです。それだけに、口コミというかたちの伝聞による情報の拡散が相対的に多くなるのも、やむを得ないことではあります。

*

基本的に、口コミは人から人への伝聞で伝播し、拡散する情報です。その際、確実かつ正確にそれが伝えられているという保障はありません。伝える側も、伝えられる側も、その情報の確度を守ろうという意識は希薄ですから、不要な情報が加わったり、真の情報が削られたりすることは、珍しくないはずで

もちろん口コミには、それをきちんとした情報として扱うことのできるものも含まれています。しかしほとんどの場合、その真偽を判断するのはむずかしいでしょう。

それが誤報であっても、捏造であっても、それについての責任を問わない、という不文律のようなものの上に成り立っているのが口コミです。そもそも、責任を問う、問わない以前の問題として、ほとんどの口コミは、情報の真偽を確認する方法がないか、真偽などどちらでもいいような内容だったりするのです。

*

しかし、口コミによる情報が、既存の媒体の情報をうまく補完するようなケースはあります。

新艇が登場した場合、多くは雑誌などにその試乗記が掲載されます。しかし、そういった試乗記においても、具体的な操船感や乗り心地の表現については文章で記すしかありません。客観的な数値で示すことができるのは、速度やエンジンの回転数、燃費くらいです。

たとえば、乗り心地を評して「ソフト」としたとしても、具体的にどうソフトなのかは、なかなか伝わるものではありません。もちろん、書き手としてもそうい

ったところを何とか表現しようと工夫はするわけですが、それにしても、身体で感じたことを文章で表現するわけですから、たとえ知っている限りの言葉を総動員して文章にしても、表現にはどうしても限界があります。

ただ、そういった記事と同じタイミングで、そのフネの航走感に関する口コミが伝えられれば、それを聞く人にとっては、従来の文章による情報とはまた別の経路を通りぬけてきた情報を同時に入手できるわけで、うまくいくと、ちょうどそのボート雑誌の記事を口コミによる情報が補完したような形になります。

*

モーターボートというのは面白い乗り物です。たとえ、同じフネで、同じ積荷で、同じように走っても、海況の違いでまったく異なった印象を受けることがあります。また、搭載人員の違いが航走感の違いとなって表れるフネもありますし、燃料搭載量の違いだけで印象が異なってくるフネもあります。

船外機やスターンドライブのフネでは、そのチルトをほんの少し蹴り上げただけで、乗り味が劇的に改善されるものもありますし、逆にほんの少し蹴り込んだだけで、妙に操船しにくくなるフネがあったりもします。

口コミでは、さまざまなかたちで表れてくるフネの性格の、ごく限られた一面についてだけ語られていることが少なくありません。これは、それが伝え語られるうちに、話し手や聞き手にとって印象的な部分だけが強調される結果でしょう。ただ、ときとして、ひとつのフネに対してまったく正反対の印象を伝える情報が、それぞれ別々のチャンネルを経由して伝わることがあります。これは複数の視点からの異なる評価が、両方も口コミの世界というフィルターを潜り抜けてきたことになるわけで、そのフネの多面性を理解する手助けとなるかもしれません。

無責任に語られるものであるか

らこそ、複数の、まったく異なる評価でも、矛盾することなく同時に存在し得るのは口コミならではのことであり、その中にこそ真実が隠されていたりすることもないわけではないのです。

*

情報の真偽が判断しにくい場合、それが誰によって語られたか、ということ基準にするというのは珍しいことではありません。

たとえ同じことが書いてあったとしても、署名なしで書かれたタブロイド版のスポーツ紙の記事は信用しないけれど、大学教授の署名入りで書かれた大新聞の記事は信用する、という考え方です。

口コミの世界は伝聞の世界であり、ほとんどの場合には、小さなコミュニティの中での伝言ゲームのようにして情報が伝わっていきます。その中には、前述した、大新聞に署名入りで記事を書く大学教授に相当する人物もいるわけで、「〇〇さんがこう言っていた」というひと言が、一気にその情報の信憑性を高めるといえるのはよくあることです。

しかし、この「誰が」に頼って情報の取捨選択をするということは、結局、情報の真偽に対する判断を放棄することでもあります。それは、口コミの世界でも変わりません。

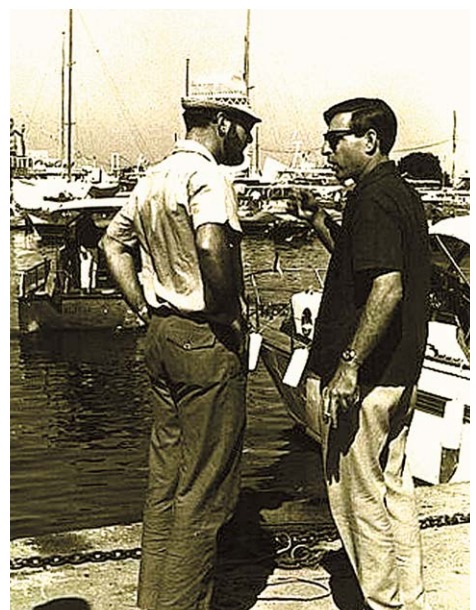


photo / NetArchives